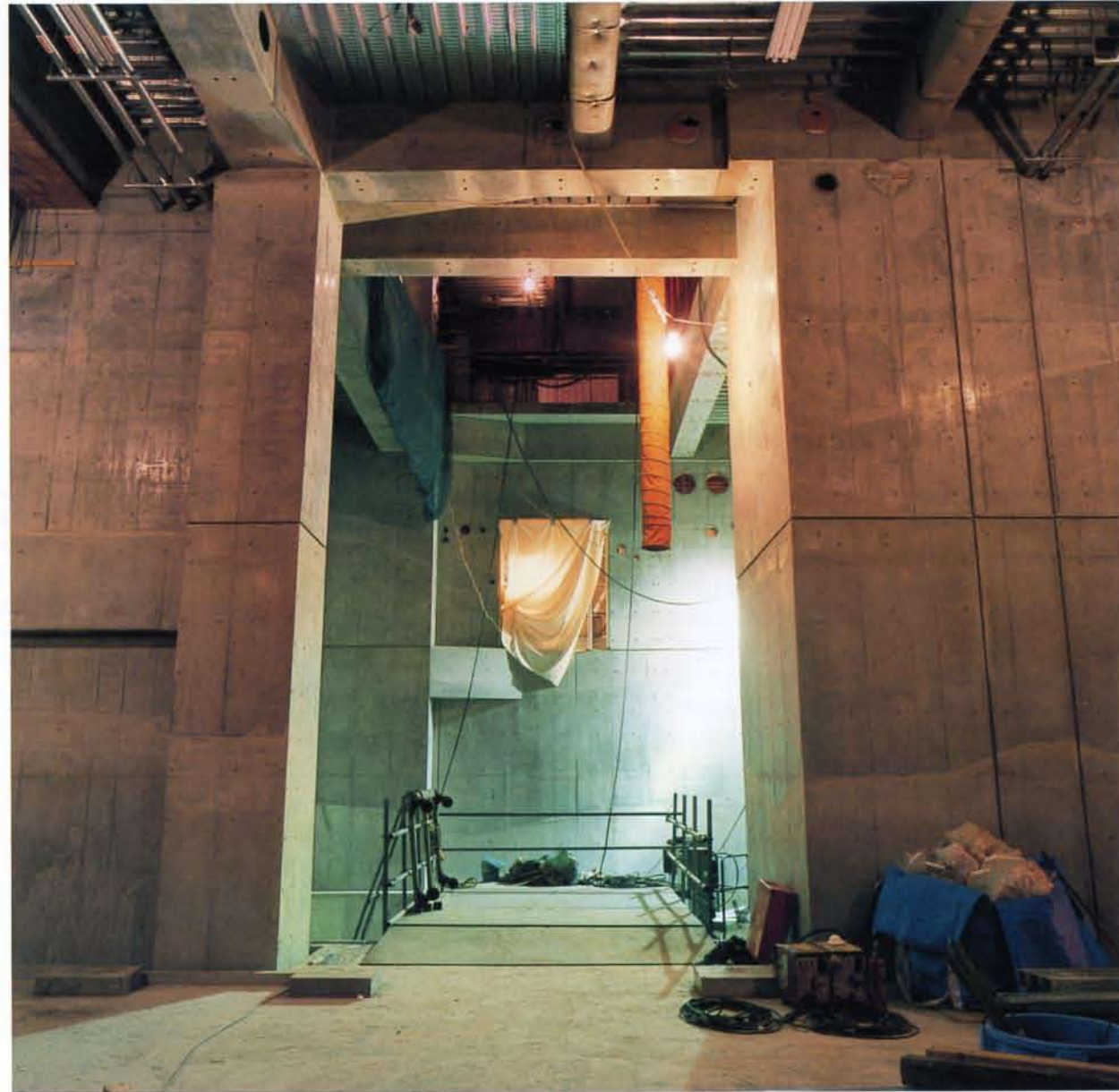


BUILDING THE CHANEL LUMIÈRE TOWER

PHOTOGRAPHS EXHIBITION SHINICHIRO KOBAYASHI



小林伸一郎写真展

ビルディング ザ シャネル ルミエール タワー

2005年3月12日[土]～4月17日[日]

東京都写真美術館 2階展示室〈恵比寿ガーデンプレイス内〉

開館時間 10:00～18:00(木・金は20:00まで)入館は閉館の30分前まで

休館日 毎週月曜日(但し、3月21日(月・祝)は開館、翌3月22日(火)は休館)

観覧料金 一般700円(560円)/学生600円(480円)/中高生・65歳以上500円(400円)

()内は20名以上の団体料金および東京都写真美術館友の会、三越カード、アトレカード各会員の割引料金
※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料(証明できるものを提示下さい)

主催 シャネル株式会社

共催 東京都写真美術館



小林伸一郎写真展

「ビルディング ザ シャネル ルミエール タワー」

相反する両極の世界に惹かれ、写真家小林伸一郎は日本全国へと、地図には明記されない景観をもとめ、終りのない旅を続けてきました。時代に取り残され朽ち果て行く建築物にレンズを向け、写真集「廃墟遊戯」「廃墟漂流」「NO MAN'S LAND 軍艦島」を出版。収録された写真は、退廃的イメージとは異なり、色彩にあふれ、独自の美を発光していたことが多くの人々に衝撃をあたえました。一方、完成に向かおうとする建造物をモチーフに、自然と現代人の営みが対立と融和する建設途中の光景を撮影。新しいラウンドスケープとしての確に視覚表現された「JAPAN NEW MAP」を出版。そして今回、日本中のスクラップ&ビルドを漂流してきた小林が、2004年12月、銀座三丁目オープンした「シャネル銀座ビルディング」の全撮影を担当。地上10階建、特殊クリスタルガラス、LED内蔵による多様な映像照明、最新地下駐車場、ブティック、イベントホール、オフィス、レストラン設備など先端建築技術が集約したビルディングが誕生しました。2003年2月、旧ビル解体から完成まで、留まることなく変容する「シャネル銀座ビルディング」のディテールを650日間密着撮影。アーティストックなフォトドキュメントに取り組みました。本展では、従来にないまったく新しい建築写真を大型カラープリント100点他で展開します。

小林伸一郎プロフィール

1956年 東京生まれ。専修大学卒。

1988年 (株)スタジオライズを設立。

第28回平凡社準太陽賞、第5回コニカ写真奨励賞、

第2回東京国際写真ビエンナーレ・キャン賞受賞。

◆作家によるギャラリートーク

2005年3月26日(土)14:00～

集合場所：2階受付、参加費：無料(観覧券が必要です)

◆お問い合わせ ☎03-5159-5400

シャネル(株)PR & イベントグループ

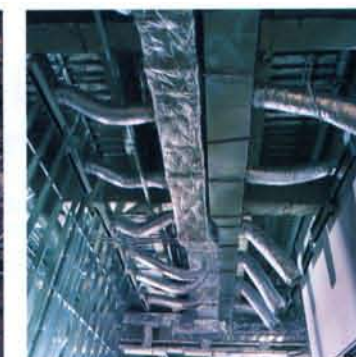
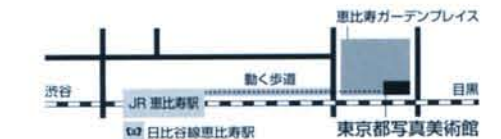
東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3

電話03-3280-0099 <http://www.syabi.com>

交通機関 JR恵比寿駅東口改札より徒歩約7分

地下鉄日比谷線恵比寿駅より徒歩10分



© CHANEL K.K. Photo/Shinichiro Kobayashi